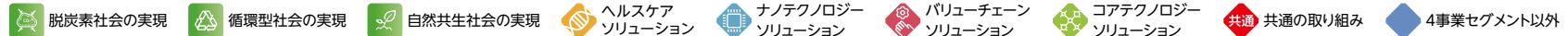


[活動計画]



	取り組み内容	社会・環境価値	2022年度実績	2023年度実績	2024年度計画
1	高性能・低価格な半導体の製造・検査ソリューションの提供	<ul style="list-style-type: none"> デジタル社会の進展に伴うCO₂排出量増加の抑制への貢献 半導体の製造や使用における電力消費に起因するCO₂排出量の抑制への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 省電力化と処理能力を向上させた新たな装置の開発 高感度・高処理能力を両立した新たな検査装置LS9600の販売開始 検査・計測装置と、AIを用いたMIソリューションを組み合わせ提供することで、半導体素材開発の高効率化に貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 省電力化と処理能力を向上させた新たな装置の開発継続 高性能化、高処理能力化、省電力化を実現した計測装置GT2000、DI4600の販売開始 既存製品の販売継続とCIP(Continuous Improvement Process)による処理能力の更なる向上を推進 	<ul style="list-style-type: none"> 省電力化と処理能力を向上させた新たな装置のリリースに向けた取り組み 製造するウェーハ1枚当たりのCO₂排出量の削減 定期交換部品の長寿命化による、廃棄部品の削減
2	カーボンニュートラルを実現する材料の研究・開発における計測・検査ソリューションの提供	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会実現への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 計測・検査ソリューションの提供継続 電池/触媒/電子材/異物の粒子計測および材料分析の自動化への取り組み 次世代材料の研究・開発に、各国の企業・大学・研究機関と取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 電池/触媒/電子材/異物の粒子計測および材料分析の計測・検査ソリューション提供の継続取り組み 次世代材料の研究・開発に、各国の企業・大学・研究機関向けのソリューション提供の継続取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> 燃料電池、太陽電池、全固体電池、触媒などのエネルギー関連材料開発へのソリューション提供 上記ソリューション提供地域の拡大
3	電動化をけん引する、安全で高効率なLiBの製造と次世代電池の開発に貢献するソリューションの提供	<ul style="list-style-type: none"> 脱炭素型のモビリティの普及への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> 量産性能の高いLiB製造設備の開発継続 LiB製造メーカーにインラインでの異物検査装置を納入。製造の最終工程で不良に繋がる金属異物の検査を上流で検知することで、生産効率化と工程改善に貢献 次世代電池の開発を目指す電池メーカーにエンジニアを派遣し技術支援を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 量産性能の高いLiB製造設備の開発継続: 高速・高精度技術の検証・開発継続 LiB製造設備の提供先の拡大 インラインでの異物検査装置を導入することで、LiBの製造過程で不良要因を取り除き、不良率解消や消費電力ならびに廃棄材料の削減を検証及び運用開始 次世代電池の開発をめざす顧客に派遣するエンジニアの増員と、次世代電池製造設備の提供を通じて、顧客の試作やパイロット生産を実現 	<ul style="list-style-type: none"> LiB製造設備の提供先の拡大継続 量産性能の高いLiB製造設備の開発継続 上流を含めた製造工程全体における、DXを活用した全数検査の実施による、不良率の大幅低減 次世代電池製造設備の提供先の拡大
4	当社グループグローバルでのファクトリー・オフィスのカーボンニュートラルをめざした、創エネ、再エネ導入、省エネの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量の削減(Scope1,2)*1 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーへの切り替え CO₂排出量:27.4千t-CO₂ 当年度にカーボンニュートラルを達成した国内拠点数:0(累計7) CDP評価Aを獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーへの切り替え CO₂排出量:19.6千t-CO₂ CDP評価A-を獲得 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーへの切り替え CO₂排出量:18.6千t-CO₂以下 当年度にカーボンニュートラルを達成した国内拠点数:1(累計8) 計画的な環境設備投資の実行
5	自社製品の調達パートナーにおけるCO ₂ 可視化と削減への支援、顧客への提供をめざす	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減への貢献(Scope3)*2 	<ul style="list-style-type: none"> 調達パートナーのCO₂排出量を把握開始:【実績】558社 / 把握想定対象社数1,590(当年度依頼社数約800) 把握率35.1% 環境先進パートナー企業*3のCO₂排出量削減に向けたサポートを開始 	<ul style="list-style-type: none"> 調達パートナーのCO₂排出量の把握継続:【実績】633社(累計)/把握想定対象社数1,189社(当年度依頼社数801社) 把握率53.2% 環境先進パートナー企業へのCO₂排出量削減に向けた分析実施 国内サプライヤーのCO₂排出量の収集・集計を可にする企業単位でのGHG算定ツール(Webシステム)の運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 調達パートナーのCO₂排出量の把握継続:【目標】820社(累計)(当年度依頼社数1,172社) 把握率70%以上 海外グループ拠点の調達パートナー毎のCO₂排出量を把握 環境先進パートナー企業の拡大 サプライヤーのCO₂排出量を収集・集計する部品単位でのGHG算出ツール(Webシステム)の当社グループ展開と事業化をめざす

*1 Scope1:自社における直接排出、Scope2:自社が購入・使用した電力、熱、蒸気などのエネルギー起源の間接排出
 *2 Scope3:Scope2以外の間接排出(自事業の活動に関連する他社の排0出)
 *3 環境マネジメントシステム等を通して環境活動が進んでいるパートナー企業